山口県生涯スポーツ推進センターだより
わくわく（輪く和く）通信
Vol.52
２０２３年
９月

周南地域スポーツフェスタが開催されました！

9 月 30 日（土）周南市熊毛体育センターを会場に、周南地域スポーツフェスタ 2023 が行われました。

今回は今宿スポーツクラブを中心に周南市の 4 クラブが企画し、下松市、光市のクラブ、3 市の行政が協力し運営されました。

午前中は「ACT SAIKYO バドミントン教室」、午後は、「エンジョイスポーツ体験♪スタンプラリー」と「ふらばーるバレーボール交流会」というプログラムでした。

バドミントン教室では、講師に ACT SAIKYO バドミントンチームの 9 名にお越しいただきました。ACT SAIKYO は、周南市に拠点がある山口県の女子実業団チームで、多くの方がニュース等で活躍を目にされているのではないでしょうか。

この教室は年齢問わず初心者を対象としました。4 歳から 65 歳という幅広い年齢層からの参加があり、家族での参加も多くありました。受付の際には、呼んでほしい名前を胸に貼り、講師と参加者の距離が近づくような工夫も見られました。

教室は 6 グループに分かれ、各グループに 1,2 名の講師が付き、準備運動から始まり、ラケットの持ち方や打ち方の基本動作の指導、そして実践という流れで行われました。準備運動では、ストレッチや鬼ごっこなどの遊びも交えられており、参加者がすぐに楽しんでいる様子がうかがえました。

基本動作の指導では、声を出しながら足の動きを練習したり、円になっての素振りや、シャトルを相手コートに投げ合いながら打ち方の動作を確認したりしていました。その他、シャトルをラケットに当てる練習や講師が下から手投げをしたシャトルを打ち返す練習が行われました。上手くラケットに当たり返せた時には、講師から「ナイス～」と言われて嬉しそうな表情をする子どもたちはとても可愛かったです。何度空振りしても挑戦しようとする姿、順番がくるまで親子で素振りの練習をする姿などたくさんの微笑ましい光景を見ることができました。

最後に、講師による３対３と１対１のデモンストレーションを見せていただき、迫力のあるプレーを間近で見ることができ、会場からは拍手が沸き起こっていました。

撮影会やサイン会もあり、参加者にとってトップアアスリートととても近い距離でふれ合える贅沢な時間となったようです。

スポーツ体験は、市が持っている用具を使って、クラブで日頃実施している種目を行うこととしました。室内モルック・ストラックアウト・輪投げ・カローリング・けん玉・ダーツ・ふらばーるバレーボールの７種目が用意されていました。スタンプラリー形式で行ったことでいろいろな種目にふれていただくことができ、来場した人はとても楽しそうに体験していました。子どもが一生懸命体験する姿を温かく見守っている保護者や、一緒に体験をしながら楽しんでいる親子の姿がとても印象的でした。

友達３人で来場していた男の子は、「初めて挑戦した種目もあって難しかったものもあったけど、楽しかった！」と笑顔で話をしていました。

ふらばーるバレーボール交流会は、クラブ間での実技交流として初めて実現したものです。各クラブのスタッフや会員を中心にチームを組み、６チームで行われました。

ふらばーるバレーボールのコートはバドミントンコート、ネットはバドミントンと同じ高さです。普通のバレーボール競技とは違い、ワンバウンドしてレシーブは３回以内で相手に返します。軽い変形したボールのため、ボールが飛ぶ方向に意外性があり、予想がつきにくいところがおもしろいところです。不規則なボールの変化を楽しみながら交流を深めていました。

スポーツフェスタは、総合型地域スポーツクラブの周知・広報とクラブ間の交流を大きな目的として開催してきました。今年度から、ようやくコロナによる影響がなく、子どもから高齢者までが、スポーツの楽しさを味わえたように思えます。そして、何よりも、親子で参加ができる内容が準備されていたことで、スポーツフェスタの意義を感じたスタッフや行政のみなさんがおられました。

１日を通してたくさんの笑顔を見ることができ、とてもよいイベントであったと感じました。

地域スポーツフェスタ 各地域の予定

周南地域以外でも、以下のとおり地域スポーツフェスタが予定されています。現在、各地域で開催に向けて協議や準備が進められています。

下関地域	10 月 22 日（日）終日	セービング陸上競技場 下関市体育館	サッカー教室、陸上教室、モルック大会、グラウンドゴルフ大会、ニュースポーツ体験、ビームライフル体験、ACP　など
厚狭地域	11 月 3 日（金･祝） 終日	秋吉台家族旅行村 レドンド秋吉台	トーク 「山口って、本当に魅力がないのですか」 実　技　フィトンチッド・ヨガ
県央地域	2 月 3 日（土）午前	山口南総合センター	山口市　グラウンド・ゴルフ大会 防府市　バドミントン・アーチェリー・ダーツ体験
萩長門地域	10 月 21 日（土）午前 11 月 5 日（日）午前 10 月 29 日（日）午前	長門高校 ルネッサながと 陶芸の村公園	長門市　バレーボール教室 卓球交流会 萩　市　グラウンド・ゴルフ大会
柳井地域	調整中	調整中	講演会（予定）
岩国地域	10 月 9 日（月･祝） 午前～13 時半	和木町体育センター 蜂ヶ峯総合公園	体験（卓球、バドミントン、硬式テニス、スケートボード、弓道）ウォーキング

人がつながる　人でつながる　人がつくる

地域に根ざしたクラブの経営や活動を支えるのは人･･･このコーナーでは、コンシェルジュがインタビューをして、総合型地域スポーツクラブにかかわる人を紹介していきます。

コミュニティクラブ東亜　会長　梶田　重樹　氏

今回は、下関市のコミュニティクラブ東亜の新会長となられた梶田重樹氏にお話をうかがいました。

会長となられた気持ちをお聞かせください。

事務局に５年在籍しており、前会長の有賀氏と共に退こうという思いを持っておりました。コミュニティクラブ東亜は 19 年という歴史があり、有賀氏は立ち上げ当初から携わってこられ、このクラブのすべてを知っておられますので、その後を引き継ぐことに正直不安な気持ちがありました。しかし、このクラブは、『みんなで創る、みんなで支える』をモットーに地域に根付いた活動をしていますので、きっとこれからも会員さんが支えてくれるであろうという思いがありました。また、東亜大学とも良好な関係を築けているという点も会長を引き受けた１つです。そして、この素晴らしいクラブを継承していく責任を誰かが果たしていかなければならないという思いがありましたので会長を引き受けることとしました。

どんなクラブにしていきたいですか？

やはりこれまでの歴史をしっかり引き継いでいかなければと思っています。活動ができなかった状況を経て会員さんが戻って来られ、小中学生の会員も増えてきています。新たな種目、講座の展開もできればと思っているところです。また、話題となっている部活動の地域移行についても引き続き取り組んでいき、学校との連携もさらに深めていきたいと考えています。勝山中学校では、学校広報誌にコミュニティクラブ東亜の紹介を掲載していただいたり、当クラブの金管バンドは、イベント等の発表時にクラブの PR をしていただいたりしています。そのようなありがたいご協力もありますので、引き続きクラブとして地域貢献もしっかりとしていきたいと思います。

下関市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会においても有賀前会長の後を引き継ぎ会長に就任されました。協議会への思いはいかがでしょう？

協議会は、年に１回実施しているスポーツカーニバルが大きなイベントとなっています。昨年度久しぶりに終日で行うことができ、子ども、シニア、家族連れなど、皆がいきいきと参加されている姿を見て、改めてこのような機会を提供していきたいと感じました。今後も継続し、より良いイベントになるよう市スポーツ振興課をはじめ、総合型クラブや関係団体と協力していきたいと思っています。

総合型地域スポーツクラブ　訪問日記

クラブ名	イベント名	訪問日	訪問者
NPO 法人 レノファ山口スポーツクラブ	夏祭り	8月19日（土）	岡村睦美

　今回は、準備中クラブであるNPO 法人レノファ山口スポーツクラブが初めて開催した『夏祭り』の様子を拝見させていただきました。このイベントは、「子どもたちに夏の思い出を」「スポーツ以外も楽しんでもらえるように」との思いで企画されました。ヨーヨー、金魚すくい、輪投げ、スポーツ体験（ドリブル、キックターゲット、グラウンドゴルフなど）やeスポーツ体験が用意されていました。キッチンカーもあり、唐揚げやかき氷を格安で提供していただけたようです。

　猛暑の中ではありましたが、来場者は汗を流しながら楽しんでおり、餅まきでは、子どもたちだけでなく保護者も一生懸命拾っていました。また、フリースペースではサッカーボールやバランスボールを使い、親子でふれ合う姿を見ることができました。

　運営にあたっては企業からの資金援助があり、スタッフや景品の確保などに充てることができたようです。今後のクラブ運営には企業との関わりも大事なポイントになってくるでしょう。

　初めての開催で、運営側としてはいろいろと不安もあったようですが、来場者からの評判もよく、高橋理事長は来年度も実施したいとお話されていました。

　新たなイベントや教室の展開をされ、総合型クラブとしての設立に向けて着々と活動されているレノファ山口スポーツクラブ。今後も新たな取組をされるのではないかと楽しみなクラブです。

クラブ名	教室名	訪問日	訪問者
スポーツクラブ翔雲	幼児体育教室	9月15日（金）	和田康夫

　7月に準備中クラブとして認定された「スポーツクラブ翔雲」の活動の一つ、「幼児体育教室」を訪問しました。この日の指導者は、秋本真之介さんと金本将太郎さんのお二人。参加した幼児たちは、ストレッチをした後に、まずは、幼児向けにアレンジした「しっぽとり」から始まりました。子どもたちがチラシで作ったしっぽを指導者だけがつけて、それを子どもたちがとるというルールでした。幼児はひたすら指導者を追いかけることで、しっぽをとられるというストレスなく、しっかり走り回っていました。ここに元レノファ山口の鳥養祐矢さんが加わると、ボール遊びに発展していくことが多いとのことでしたが、残念ながら本日はお休みでした。会場は、山口市吉敷地域交流センターの講堂を使えることで、夏の間も、必死に走ったり、快適に汗を流したりすることができたということです。保護者のみなさんからは、「週1回のこの教室を子どもたちが楽しみにしているだけでなく、家でも習った遊びをしていることで、体を動かす基礎が育っている」というお話などを伺えました。

　このクラブでは、この他に小学生・中学生を対象とした陸上教室を展開しており、中体連の大会にも出場するなど、中学校部活動の受け皿になりつつあります。とは言え、会員数がまだまだ少なく、PR を兼ねた「かけっこ×ボールあそび」のイベントを11月26日（日）、山口市維新公園ちょるる広場で、陸上競技の宮本大輔選手、レノファ山口の選手のみなさんを招いて開催する予定だということです。

　クラブの拠点は、（株）弥栄にあり、会長を兼ねた社長の藤田昌彦さんは、「介護」「食」「健康」の3つの柱の内、翔雲が健康を担うために、総合型地域スポーツクラブとして創設したいとの強い思いを話してくださいました。高齢者もさることながら、子どもたちが「安全に、楽しく、笑顔で」を指導の方針にかかげて活動しているスポーツクラブ翔雲の今後に注目したいものです。

【生涯スポーツ推進センター問い合わせ先】
央部生涯スポーツ推進センター（山口県スポーツ協会）
TEL　083-933-4697　　FAX　083-933-4699

スポーツくじ WINNER toto BIG
クラブアドバイザーは、スポーツ振興くじ（toto）助成を受けて活動しています。